

「松山方式」による塩類リサイクルの取組（愛媛県松山市）

取組概要

愛媛県松山市では、下水道部局と環境部局が連携し、一般廃棄物最終処分場の水処理工程で発生する塩類から「エコ次亜」と呼ばれる消毒剤を製造し、下水処理場で使用する日本初の塩類リサイクルシステム（「松山方式」）を構築した。

人口 512,479 人 (H30.1.1現在)

担当 環境部清掃施設課

取組の効果

<従来の処理方式との比較>

- ◆維持管理費用が年間約9,000万円減少
- ◆CO2排出量が年間約600トン減少
- ◆廃棄されていた塩類（年間400トン）のリサイクル



エコ次亜の製造装置

創意・工夫した点

- ・塩類リサイクルの研究成果（論文等）を日本で初めて実用化した。
- ・約1年間、様々な実証試験を実施し、外部有識者に評価を得ることで安全性の確保に努めた。

他団体へのアドバイス

- ・縦割り行政の考え方では本事業は実現し得なかった。本市は、事業計画段階から下水道部局と環境部局が連携し、課題を解決しながら事業を進めたことで実現した。



下水処理場へのエコ次亜の搬入